

(ウ) 秩父まるとジオパークの推進

○現況と課題○

ジオパークとは、地域固有の地質や地形と自然、歴史、文化、人々の暮らしとの繋がりを紐解きながら地球遺産を将来にかけて守り活用していくユネスコの正式プログラムであり、ジオパーク秩父は平成23年より日本ジオパークの認定を受け活動しています。秩父地域は、日本地質学発祥の地として近代地質学の発展に寄与した地であり、日本列島形成の歴史を今に伝える貴重な地質資源を多く有することの他にも、大地の成り立ちが固有の生態系を形成し、そこに住む人々が独自の歴史・文化・産業を生み出した、多様性ある魅力的なジオパークとして確立しています。今後も、構成団体である1市4町や埼玉県、NPO、民間団体・企業とが連携し、地域住民を巻き込んでの積極的な活動が望まれています。

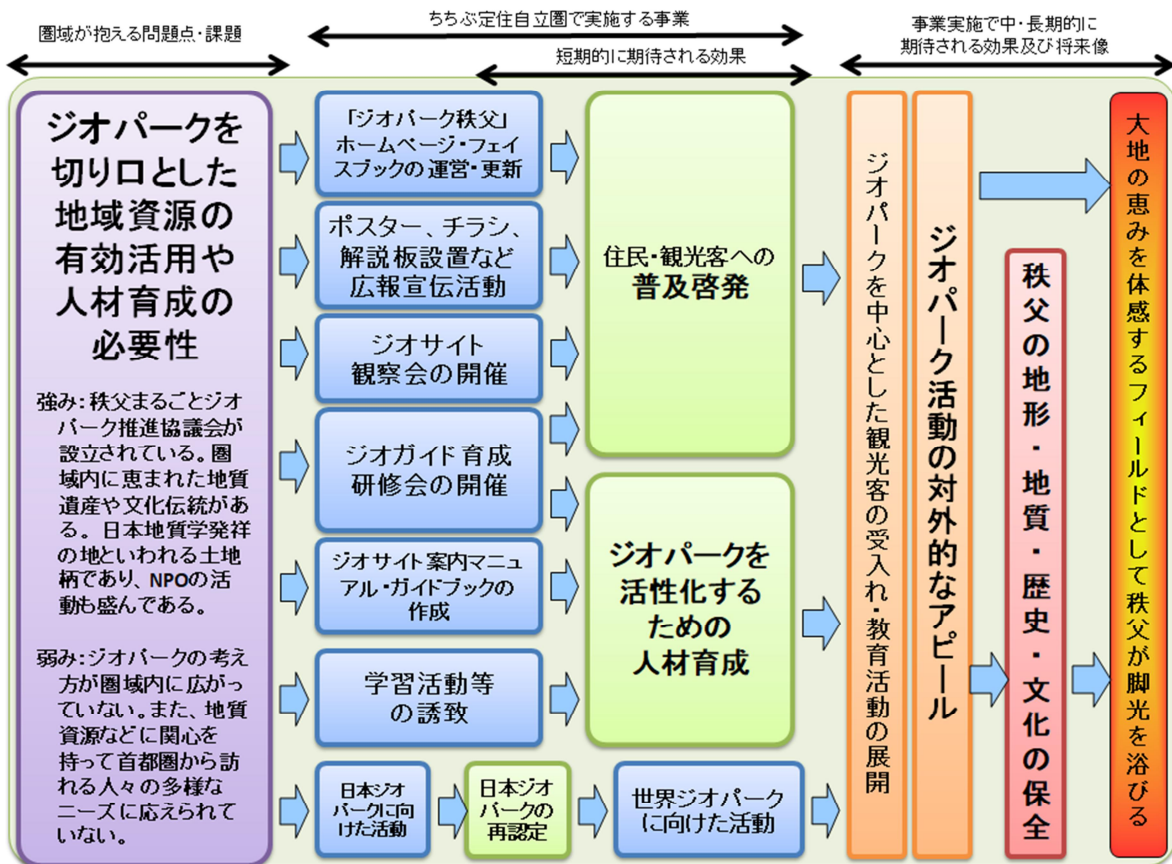


○今後の展望○

圏域内外の方々へのジオパーク活動の普及啓発を主眼として、学習観光・体験観光の誘致及び実施を行います。事務局体制については、ジオパークエリアと同じ1市4町のエリアを包括する(一社)秩父地域おもてなし観光公社に引き続き事務局を置き、同社が展開する広域的な観光事業との連携を図りながら、専門部会委員による事務局サポート体制を敷きます。ガイドツアーの受け入れについても積極的に行いながら、観光客の誘致、圏域内外の学校教育活動、地元コミュニティや公民館における生涯学習活動などにも積極的に協力していくほか、構成団体や関係者と連携して包括的な郷土人材育成事業を展開します。地域に根差した取り組みを進めながらジオパークを通じた秩父のブランド力の向上を図ります。

- (1) 生活機能の強化に係る政策分野
エ 産業振興
- (ウ) 秩父まるとジオパークの推進

○戦略図○



○主要事業○

①「秩父まるごとジオパーク」の普及啓発

事業名	ジオパーク秩父普及啓発・情報発信					39	関係市町名
事業概要	<p>ジオパーク活動を地域内外へ広く発信するため、ガイドブックの一般販売・流通、ポスター・チラシ・ガイドブック・パンフレットの充実、ホームページやSNSでの積極的な情報発信、ジオパークの拠点施設の刷新、各サイトの現地解説板・案内看板の新設・改修やサイトに関連するハード整備を行う。</p> <p>また、事務局に推進員1名を配置し、各事業の実施や関係者間の調整等を行う。</p>					<p>◆秩父市(観光課、教育委員会)</p> <p>◆皆野町(産業観光課、教育委員会)</p> <p>◆長瀬町(産業観光課、教育委員会)</p> <p>◆小鹿野町(まちづくり観光課、教育委員会)</p>	
成果	<p>秩父地域の住民及びジオパーク秩父への学習観光者に対し、ジオパークの活動を周知するとともに、楽しく学ぶツールとしての活用が期待できる。</p>						
関係市町の役割分担	<p>地域住民及びジオパーク秩父への訪問者に対し、ジオパークの活動を周知するとともに、大地の成り立ちから地域を深く学ぶツールとしての活用が期待できる。</p>						
事業費 (千円)	R7 5,066	R8 5,066	R9 5,066	R10 5,066	R11 5,066	計 25,330	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	3,260	3,260	3,260	3,260	3,260	16,300	
各町負担額	602	602	602	602	602	3,010	
※各町負担額は皆野町、長瀬町、小鹿野町の3町が負担する。							

事業名	ジオツーリズムの推進					40	関係市町名
事業概要	<p>住民及び学習観光者への普及啓発を主眼としてジオサイトを観察するジオツアーを随時推進する。</p> <p>特に、秩父ならではの地域資源・観光資源を活かし、ジオパークと連携した事業を展開する。</p>					<p>◆秩父市(観光課、教育委員会)</p> <p>◆皆野町(産業観光課、教育委員会)</p> <p>◆長瀬町(産業観光課、教育委員会)</p> <p>◆小鹿野町(まちづくり観光課、教育委員会)</p>	
成果	<p>秩父圏域の住民及び訪問者に対し、ジオパークの活動を周知し、魅力を発信することが期待できる。</p>						
関係市町の役割分担	<p>秩父市及び各町は、事務局である秩父地域おもてなし観光公社とともに、企画立案を行い、事業を推進する。事業は秩父まるごとジオパーク推進協議会にて決定する。</p>						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	300	300	300	300	300	1,500	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	192	192	192	192	192	960	
各町負担額	36	36	36	36	36	180	
※各町負担額は皆野町、長瀬町、小鹿野町の3町が負担する。							

②「秩父まるごとジオパーク」を推進するための人材育成

事業名	ジオパーク秩父の人材育成					41	関係市町名
事業概要	<p>ジオパークの活動に関心のある地域住民や既存の観光ガイド養成講座等を受講した地域住民などを対象として、ガイド等養成研修会及び講演会等を実施する。</p> <p>具体的には、ジオパーク秩父上席推進員の助言を得ながら、実地研修等を実施するとともに、圏域内学生等への教育活動を実施する。</p>					<p>◆秩父市（観光課、教育委員会）</p> <p>◆皆野町（産業観光課、教育委員会）</p> <p>◆長瀬町（産業観光課、教育委員会）</p> <p>◆小鹿野町（まちづくり観光課、教育委員会）</p>	
成果	<p>秩父地域のジオパーク資源を語るができる人材を育成することで、地域に愛着を持ち、後世に秩父地域の素晴らしさを伝え、資源を保全していくことができる。</p> <p>また、訪問者と地元の方々の交流による新しいツーリズムの形を構築できる。</p>						
関係市町の役割分担	<p>秩父市は、専門的な知識を有するジオパーク秩父上席推進員を推薦（協議会で雇用）し、ジオパーク秩父の人材育成を行う。各町はこの活動に協力する。</p>						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	2,200	2,400	2,200	2,200	2,200	11,200	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	1,417	1,545	1,417	1,417	1,417	7,213	
各町負担額	261	285	261	261	261	1,329	
※各町負担額は皆野町、長瀬町、小鹿野町の3町が負担する。							

③「秩父まるごとジオパーク」の圏域外へのアピール

事業名	世界ジオパーク認定に向けた活動					42	関係市町名
事業概要	<p>将来的に世界ジオパークの認定を目指し、求められる諸条件や必要な整備内容について調査・研究を行う。さらに、インバウンド対応を推進し、ツアー検証や各媒体の多言語化対応等を通じて受け入れ態勢の確立を目指す。</p>						<p>◆秩父市(観光課、教育委員会)</p> <p>◆皆野町(産業観光課、教育委員会)</p> <p>◆長瀬町(産業観光課、教育委員会)</p> <p>◆小鹿野町(まちづくり観光課、教育委員会)</p>
成果	<p>世界ジオパークの認定により、圏域内のジオパーク活動がさらに促進され、国内はもとより世界に向け大きくアピールできる。</p>						
関係市町の役割分担	<p>秩父市及び各町は関係機関との調整を行う。また、事業方針は秩父まるごとジオパーク推進協議会にて決定する。</p>						
事業費 (千円)	R7 420 の内数	R8 200 の内数	R9 420 の内数	R10 420 の内数	R11 420 の内数	計 1,880 の内数	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	270	128	270	270	270	1,208	
各町負担額	50	24	50	50	50	224	
※各町負担額は皆野町、長瀬町、小鹿野町の3町が負担する。							

事業名	学習活動等の誘致（自治体連携事業）		43	関係市町名																							
事業概要	<p>環境・体験・交流に関する誘客促進事業として、積極的に地元地域や首都圏の小学校・中学校・高等学校、教育旅行関連企業等に働きかけ、学習活動をジオパーク秩父で行うよう誘致活動を行う。</p>			<p>◆秩父市（観光課、教育委員会） ◆皆野町（産業観光課、教育委員会） ◆長瀬町（産業観光課、教育委員会） ◆小鹿野町（まちづくり観光課、教育委員会）</p>																							
成果	<p>誘客により経済活性化を図るとともに、秩父の魅力を学習し次世代の人材育成を図れることが期待できる。</p>																										
関係市町の役割分担	<p>秩父市及び各町は、事務局である秩父地域おもてなし観光公社とともに、企画立案を行い、事業を推進する。事業は秩父まるとジオパーク推進協議会にて決定する。</p>																										
事業費 (千円)	R7 420 の内数	R8 200 の内数	R9 420 の内数	R10 420 の内数	R11 420 の内数	計 1,880 の内数																					
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし																										
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担額</td> <td>270</td> <td>128</td> <td>270</td> <td>270</td> <td>270</td> <td>1,208</td> </tr> <tr> <td>各町負担額</td> <td>50</td> <td>24</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>224</td> </tr> </tbody> </table>							R7	R8	R9	R10	R11	計	市負担額	270	128	270	270	270	1,208	各町負担額	50	24	50	50	50	224
	R7	R8	R9	R10	R11	計																					
市負担額	270	128	270	270	270	1,208																					
各町負担額	50	24	50	50	50	224																					
※各町負担額は皆野町、長瀬町、小鹿野町の3町が負担する。																											

○取組の成果指標○

指標1	ジオツアー開催数（ジオガイド含）				
	R7	R8	R9	R10	R11
目標	30回	30回	35回	35回	35回
実績					
指標2	子どもを対象としたジオパーク学習回数				
	R7	R8	R9	R10	R11
目標	20回	20回	25回	25回	25回
実績					

(エ) 圏域内企業の支援体制の充実

○現況と課題○

秩父圏域は、林業、繊維業（銘仙）、鉱業、窯業などの地場産業で栄えてきましたが、これらに代わり、昭和40年頃から電気機械・電子部品・精密機械などの製造業が急速に増加し、地域経済を支える主力産業となっています。

日本の全企業数の約99%、雇用の約7割を占めている中小企業や小規模事業者は、人口減少と少子高齢化が最大の課題となっており、大企業との生産の格差拡大、国内市場の縮小、人材不足、設備の老朽化、事業継承等のほか、物価高騰や世界的なサプライチェーンの混乱等、様々な環境変化や課題にも直面しています。今後、働き方改革やテレワーク、新技術の導入を進め、リスクリング（学び直し）などによる人材育成にも注力することで生産性の向上を図り、多様な人材による労働力を確保することは、喫緊の課題となっています。

圏域内には、世界に通じる優れた技術を持つ企業が数多くある反面、経営基盤の脆弱な中小零細企業が多く存在しています。どの企業も地域の“雇用の場”として重要な役割を果たしており、企業ニーズをしっかりと把握したうえで、支援体制を構築することが重要となっています。

現在、秩父圏域は働く場所を求めて若年層の人口が流出するなど、深刻な人口減少と高齢化の問題に直面しています。圏域内の定住人口を確保・維持するためには、秩父地域雇用対策協議会やハローワーク秩父、埼玉県秩父地域振興センター、圏域内の県立高等学校などと協力して雇用対策を実施することが必要不可欠となっています。

○今後の展望○

圏域内の企業等が求める社会経済状況の変化に応じた企業支援ニーズを的確に把握し、効果的な企業支援施策を実施していきます。

訪問型の企業支援では、中小企業診断士等の専門家によるタイムリーな啓発、対策、支援策を講じるとともに、計画経営の高度化に取り組むための啓発、事業承継や創業支援、人材育成などへの支援も行っていきます。

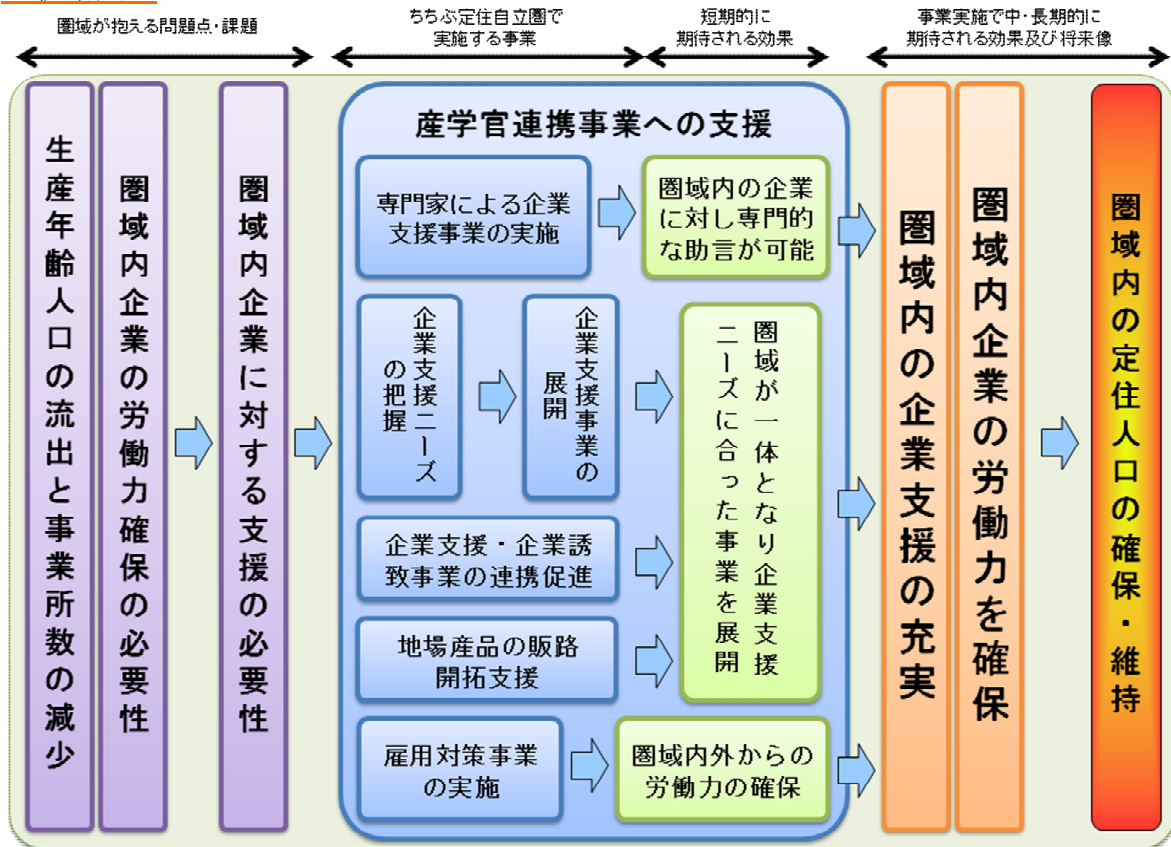
実施にあたっては、秩父商工会議所、各商工会、(一社)秩父地域おもてなし観光公社などに加え、金融機関などの関係機関の一体的な支援体制の構築が不可欠なため、圏域内の支援機関等の連携を密にして推進していきます。

企業誘致活動については、立地企業の意向やタイミングなどにより慎重な対応が求められるものの、引き続き、1市4町が連携してPR活動に取り組んでいきます。

雇用対策としては、「秩父に住んで働こう」の合言葉のもと、秩父地域雇用対策協議会やちちぶ雇用活性化協議会が実施する各種事業により、秩父地域の良さや地域内企業の魅力をPRし、若者の定住促進につなげ、中長期的に圏域内の定住人口の確保・維持を目指します。

- (1) 生活機能の強化に係る政策分野
 - エ 産業振興
- (エ) 圏域内企業の支援体制の充実

○戦略図○



○主要事業○

①産学官連携事業等に対する支援

事業名	訪問型による企業支援の実施					44	関係市町名
事業概要	<p>中小企業診断士などの資格を有し、企業支援に精通したコーディネーターによる訪問型の企業支援を、(一社)秩父地域おもてなし観光公社に委託して実施する。</p> <p>伴走型企业支援の強化が目的の「中小企業応援プロジェクト事業」では、企業等が抱える課題解決のための助言、経営改善の動機付けや具体的な改善に向けた支援、各種補助金や経営計画の策定支援等を行う。</p> <p>また、「産学官連携コーディネート事業」と連携した一体的な支援により、人材不足の解決や人材育成、原油や原材料費が高騰する状況下での競争力の強化、経営力・販売力の向上等を効果的に図る取組とする。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ◆秩父市 (先端技術推進課) ◆横瀬町 (振興課) ◆皆野町 (産業観光課) ◆長瀬町 (産業観光課) ◆小鹿野町 (産業振興課) 	
成果	<p>専門的知見を有するコーディネーターが支援を行うことで、圏域内の企業に対する支援体制の充実が図れる。また、コーディネーターが圏域内企業の活動状況を把握し、行政と情報共有することで効果的な企業支援策を打ち出すことにつながる。</p>						
関係市町の役割分担	<p>秩父市は事業実施に関わる事務を行い、各町は秩父市と協力して、事業の周知、需要調査、情報収集等を行う。</p>						
事業費 (千円)	R7 12,055	R8 12,055	R9 12,055	R10 12,055	R11 12,055	計 60,275	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	6,323	6,323	6,323	6,323	6,323	31,615	
各町負担額	1,433	1,433	1,433	1,433	1,433	7,165	

事業名	企業支援事業の展開					45	関係市町名
事業概要	<p>社会経済状況の変化に応じた企業支援ニーズを的確に捉え、企業等が抱える課題克服への支援を行う。</p> <p>支援テーマとしては、計画経営、事業承継、販路拡大、人材育成、創業などへの支援となるが、中でも創業支援事業計画の取組を更に推進するため、店舗等改修に係る費用を補助するとともに創業後のフォローアップ支援を新規で行う。</p>					<p>◆秩父市（産業支援課、先端技術推進課）</p> <p>◆横瀬町（振興課）</p> <p>◆皆野町（産業観光課）</p> <p>◆長瀬町（産業観光課）</p> <p>◆小鹿野町（産業振興課）</p>	
成果	<p>圏域内の企業等が自社の現状を分析し、課題を解決することで業績が向上し、地域経済への波及効果が期待できる。また、創業に係るソフト面、ハード面の支援により、「創業するなら秩父で！」の機運を高め、若年層を中心とした圏域外からの移住等にも結びつく。</p>						
関係市町の役割分担	<p>秩父市は各町と協力し支援施策を立案し実施する。</p>						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	4,391	4,841	4,391	4,391	4,391	22,405	
国県補助事業等の名称・補助率等	<p>該当なし</p>						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	2,303	2,541	2,303	2,303	2,303	11,753	
各町負担額	522	575	522	522	522	2,663	

事業名	企業支援・企業誘致事業の連携促進					46	関係市町名
事業概要	<p>秩父市が各町と連携し、圏域全体の企業情報の収集、公的助成制度の紹介などを行う。</p> <p>企業誘致事業については、1市4町で共同制作した「秩父地域企業立地ガイド」やPR動画「立地するなら秩父へ!」を活用して圏域全体のPRと企業誘致活動を行う。なお、「秩父地域企業立地ガイド」については支援内容など各種情報を更新し、改訂版を作成する。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ◆秩父市（先端技術推進課） ◆横瀬町（振興課） ◆皆野町（産業観光課） ◆長瀨町（産業観光課） ◆小鹿野町（産業振興課） 	
成果	<p>各市町が個別に実施するよりも、1市4町が連携して取り組むことで、より効果的な企業支援、企業誘致事業となり、地域外へのアピール力の向上が期待できる。</p>						
関係市町の役割分担	<p>秩父市は連携して実施する事務に関する企画立案、運営などを行い、各町はこれに協力する。</p>						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	495	0	495	495	495	1,980	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	259	0	259	259	259	1,036	
各町負担額	59	0	59	59	59	236	

事業名	雇用対策事業の実施					47	関係市町名
事業概要	<p>雇用の場の確保や定住人口の確保・維持を図るため、秩父地域雇用対策協議会やちちぶ雇用活性化協議会が実施している「就職面接会」、「企業説明会」、「情報発信」等の雇用対策事業により、秩父圏域内への地元就職やUターン就職はもちろん、秩父の魅力に惹かれて秩父圏域外から移住するIターン・Jターン就職などにつなげる。</p> <p>また、人材育成・定着に資する取組として、企業向けの「階層別研修」及び「奨学金返還支援」を実施する。</p>					<p>◆秩父市（産業支援課）</p> <p>◆横瀬町（振興課）</p> <p>◆皆野町（産業観光課）</p> <p>◆長瀬町（産業観光課）</p> <p>◆小鹿野町（産業振興課）</p>	
成果	<p>秩父地域雇用対策協議会やちちぶ雇用活性化協議会が実施している各種雇用対策事業により、秩父地域の良さや地域内企業の魅力をPRし、若者の定住促進につなげ、中長期的に圏域内の定住人口の確保・維持が期待できる。</p>						
関係市町の役割分担	<p>「秩父に住んで働こう」の合言葉のもと、秩父地域雇用対策協議会やハローワーク秩父、埼玉県秩父地域振興センター、圏域内の県立高等学校などと協力し、圏域内への若者の定住促進につなげるため、市町が協力して実施する。</p>						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	9,991	17,948	9,991	9,991	9,991	57,912	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	5,239	9,412	5,239	5,239	5,239	30,368	
各町負担額	1,188	2,134	1,188	1,188	1,188	6,886	

○取組の成果指標○

指標 1	経営革新計画、各種補助金等採択件数					
	R7	R8	R9	R10	R11	
目標	80 件	80 件	80 件	80 件	80 件	
実績						
指標 2	就職面接会参加企業数					
	R7	R8	R9	R10	R11	
目標	80 社	80 社	80 社	80 社	80 社	
実績						

(オ) 有害鳥獣対策の推進

○現況と課題○

秩父地域では近年、有害鳥獣による農林水産物等への被害が拡大し、営農意欲の低下等、地域農林業の振興に大きな影響が出ています。

圏域内では、平成 22 年度より秩父地域鳥獣害対策協議会の活動を定住自立圏の事業と位置付け、全国で実施している様々な調査・研究の成果を踏まえ各種取組を実施してまいりました。

これにより、活動開始以前に比べ被害面積・被害金額共に減少が図られてきたところです。

しかし、圏域内の地域間において有害鳥獣対策に対する温度差があり、具体的な正しい防除対策を実施していない地域では、未だに被害が増え続けており、今後被害農家の意識改革も含め更なる推進を図る必要があると考えられます。

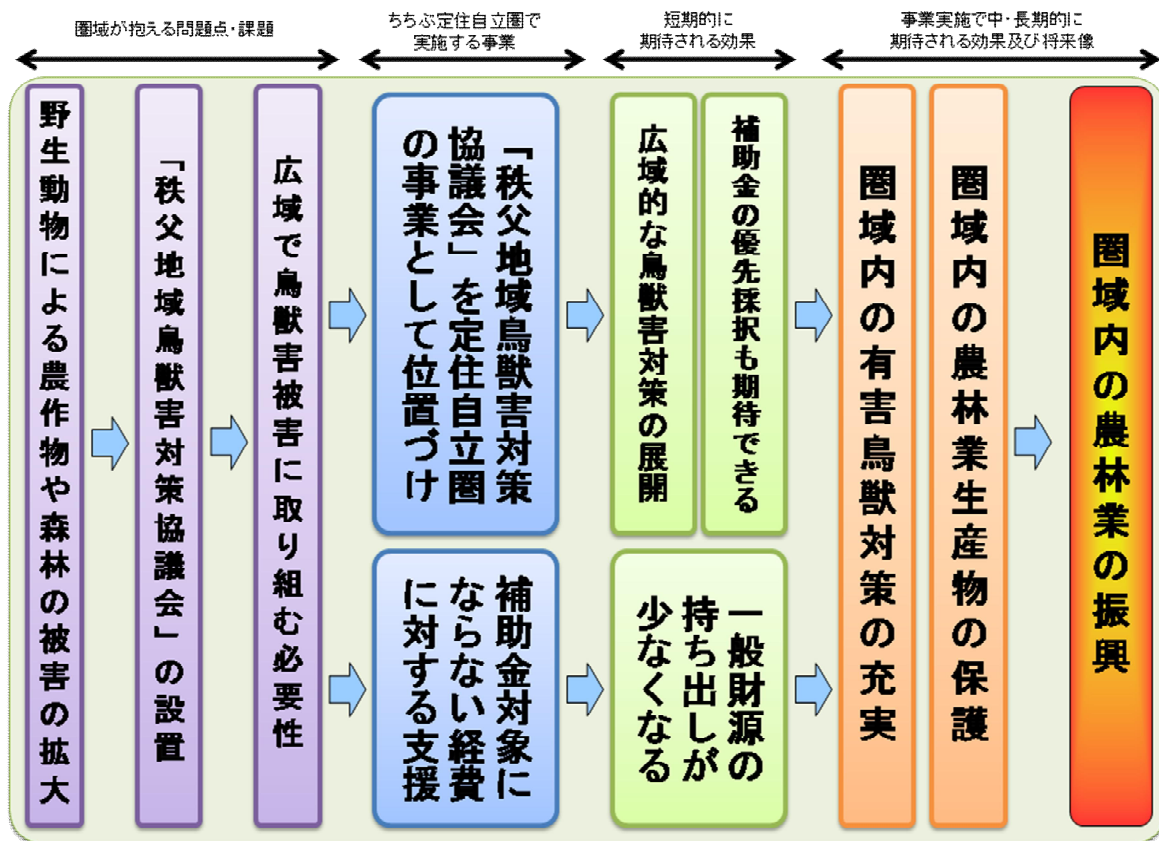
さらに、野生動物が住宅地内に出没する機会が増加しており、人的被害の発生も懸念されていることから、住民への被害対策も含めた鳥獣被害防止対策の推進が引き続き必要と考えられます。

○今後の展望○

鳥獣被害対策は、地域のあらゆる状況を考慮し、より効果の見込める手法を選択し実施していく必要があることから、今まで以上に市町間の連携を深め、また、必要に応じて新技術の導入も視野に入れ、秩父圏域における鳥獣被害対策の課題等について共有し、調査・研究も行ないながら、農作物等の収穫を目的とした鳥獣被害対策を実施していく必要があると考えます。

今後も、秩父地域鳥獣害対策協議会の活動をちちぶ定住自立圏の事業として位置づけ、更なる被害減少を図りたいと考えます。

○戦略図○



○主要事業○

①広域的な有害鳥獣対策に対する支援

事業名	秩父地域鳥獣害対策協議会による事業					48	関係市町名
事業概要	<p>秩父地域の関係機関の長等で構成されている、「秩父地域鳥獣害対策協議会」をちちぶ定住自立圏の事業と位置づけ、農作物等の収穫を目的とした、効果的な鳥獣害対策が実施できるよう支援する。具体的にはGPS、ドローン等を活用した野生鳥獣の生息調査、防護柵の設置、環境整備事業、テレメトリーを活用したサル被害対策事業などを協議会の事業として取り組むこととする。</p>					<p>◆秩父市（鳥獣対策課） ◆横瀬町（振興課） ◆皆野町（産業観光課） ◆長瀬町（産業観光課） ◆小鹿野町（産業振興課）</p>	
成果	より効果の期待できる取組を無駄なく実施でき、被害減少を図ることができる。						
関係市町の役割分担	各市町は、秩父地域鳥獣害対策協議会に参加し、運営に協力する。						
事業費 (千円)	R7 4,000	R8 2,500	R9 4,000	R10 4,000	R11 4,000	計 18,500	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
	R7	R8	R9	R10	R11	計	
市負担額	2,100	1,312	2,100	2,100	2,100	9,712	
各町負担額	475	297	475	475	475	2,197	

○取組の成果指標○

指標 1	野生鳥獣による農作物被害面積				
	R7	R8	R9	R10	R11
目標	—	→	→	→	8ha
実績					
指標 2	野生鳥獣による農作物被害金額				
	R7	R8	R9	R10	R11
目標	—	→	→	→	1,800万円
実績					

※目標設定は年度ごとの目標ではなく長期目標を設定。